

近年、台風や集中豪雨による水害が、毎年のように発生しています。令和に入り、東日本の広範囲に被害をもたらした令和元年東日本台風や、熊本県を中心に大きな被害をもたらした令和2年7月豪雨などが立て続けに起きました。激化する水害に対して、浸水防止計画の作成や自衛水防組織の設置が求められています。本サービスは、各事業所の水害リスクを調査し、BCP\*策定支援を行うサービスです。

\*BCP(Business Continuity Plan 事業継続計画)

## 特長

### 1. 対象の全拠点を調査します

公的資料とシミュレーションに基づいて、水害リスクが高い拠点を抽出します。

### 2. 重要かつハイリスクな拠点を詳細に調査します

最新の地形や河川形状、対象敷地配置図、弊社コンサルタントによる現地調査などに基づいて、弊社のリアルタイム洪水シミュレータ「DioVISTA/Flood」を用いて、建屋ごとの浸水深や流れの方向・速さ、浸水開始から水が引くまでの時間を算出します。

### 3. 水害予想を定量的かつ視覚的に表現します

時々刻々の浸水エリアを地図と重ねて表示することで、堤防決壊から拠点の浸水までの過程を把握できます。



## 効果

被害軽減策やBCPをシミュレーションに基づき策定できます。

- ・異常事態のトリガーの設定(近隣河川の水位、降雨など)
- ・拠点内の社員、お客さまの避難計画
- ・危険物(毒物、劇物、爆発物など)の漏えい防止計画
- ・製造設備立ち下げと拠点からの退避計画
- ・設備の移設、拠点のかさ上げ、土盛り、トレンチ、止水板などの設置計画
- ・損害保険契約の見直し

# 水害リスク解析サービス フロー

## 簡易調査フロー

公的資料の確認

想定シナリオの作成

シミュレーション(広域)

ハイリスクな拠点の抽出

## 詳細調査フロー

現地調査

行政機関などからの資料収集

想定シナリオの作成

シミュレーション(敷地周辺)

想定される浸水の定量化

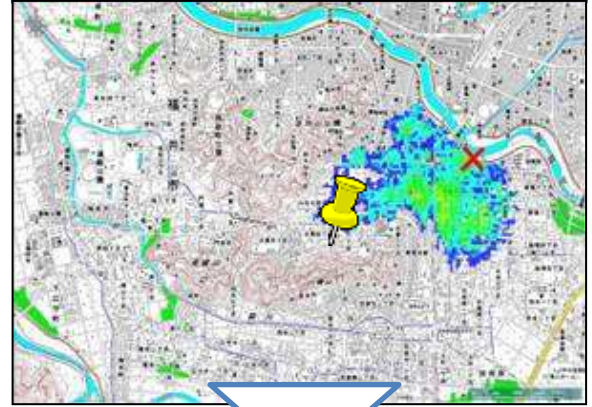
### 浸水定量化のイメージ

建屋	想定浸水深	想定流速
特殊実験棟	1.0 m	0.6 m/s
排水処理棟	1.2 m	0.2 m/s
受変電棟	1.2 m	0.2 m/s
社員駐車場	2.0 m	0.8 m/s

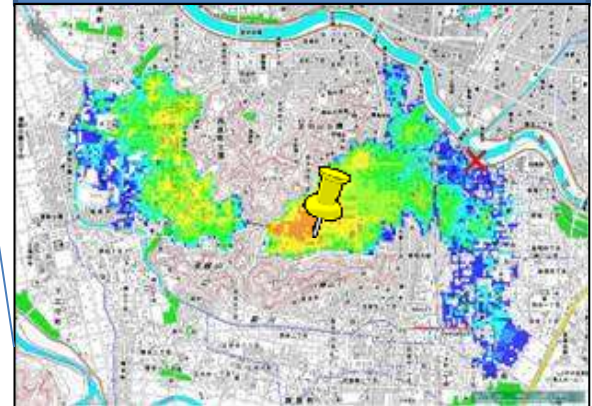
## 堤防決壊直後



## 3時間後



## 5時間後



- (1)簡易調査は、各種公表資料から当該地の気象特性や水害リスクを洗い出し、机上だけで評価
- (2)詳細調査は、立地・気象条件、過去の被災調査などと現地における調査結果から評価

## 株式会社 日立パワーソリューションズ

デジタルエンジニアリング本部 デジタルソリューション部

〒312-0034 茨城県ひたちなか市堀口832-2 (029) 354-0205

営業統括本部 産業営業統括部 デジタルソリューション営業部

〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目18番13号 (03) 6285-2909

北海道支店 (011) 251-0513 東北支店 (022) 224-6444

インフラサービス営業部 (0294) 55-7187 関東支店 (03) 6285-2909

中部支店 (052) 263-0936 関西支店 (06) 6377-8870

中国支店 (082) 241-5051 九州支店 (092) 262-7811

- 国土地理院発行の数値地図25,000(地図画像)、数値地図50mメッシュ(標高)および数値地図5mメッシュ(標高)を使用(承認番号 平17総使、第635号)。
- 国土地理院の「地理院タイル」を使用。
- 「DioVISTA」は(株)日立パワーソリューションズの登録商標です。
- 製品仕様は、改良のため変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合は、外国為替および外国貿易法ならびに米国輸出管理規則をご確認の上、必要な手続きをおとりください。なお、ご不明な場合は、お問い合わせください。

URL : <https://www.hitachi-power-solutions.com>

diovista

検索

F04-30015

2022. 08